

あなたと博物館



HIRATSUKA CITY MUSEUM

'91 11月号

秋期特別展

会期：11/10～29

『切手のなかの博物誌』

今回の特別展は、切手のなかの図案をとおして博物館資料に対する理解を深めてもらうことを目的に企画されたものです。

浮世絵・高山植物・昆虫・民俗芸能・野鳥・魚介類さらに文化財等々、博物館資料が切手の図案になっている例は、たくさんあります。そうした例を今回の展示では、切手と対比させながら、見て頂こうと思います。

また、切手は、その多くが、物を緻密に精巧に描いた原画をもとに印刷したものです。したがって、今回の展示では、記念切手、シリーズ切手の原画を40年代・50年代というように

年代を追って19点展示します。そこから切手印刷技術の変化を読みとることができるでしょう。

さらに、物を中心としたテーマコレクションでは、世界の自転車切手・世界の昆虫切手・外国が発行する日本の浮世絵切手を中心に、戦時下、日本が占領した国々で発行したいわば切手そのものが歴史を語る博物館資料となってしまう切手も数多く展示します。小さな切手のなかにある「物の世界」や「歴史」をのぞく機会にしていいただければと思います。

日本の国蝶であるオオムラサキは、75円切手の図案にも使われていました。

しかし、雑木林が少くなるとともに姿を消し、今では、なかなか姿を見ることができません。平塚では、昨年実施した「身近な生き物調査」の時に久しぶりに観察されました。

特別展では、切手とオオムラサキの実物標本を展示します。



「オオムラサキ」撮影：貞松 嘉子氏（90.7.5）

来年4月から

一階の常設展示が新しく生まれ変わります。

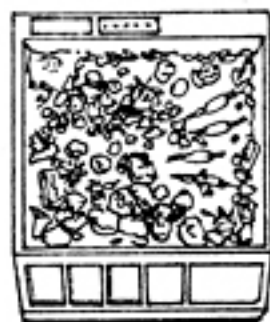
博物館が開館してから3度目の展示替えが行われます。(来年1月～3月まで工事期間、4月より開館)そこで、今月号より、順次、新しい展示内容をコーナーごとに紹介していきたいと思います。まず、一階全体を上からのぞくとこんな感じになります。



1, 相模川を歩く

2, 川原は生きている

3, アユの川



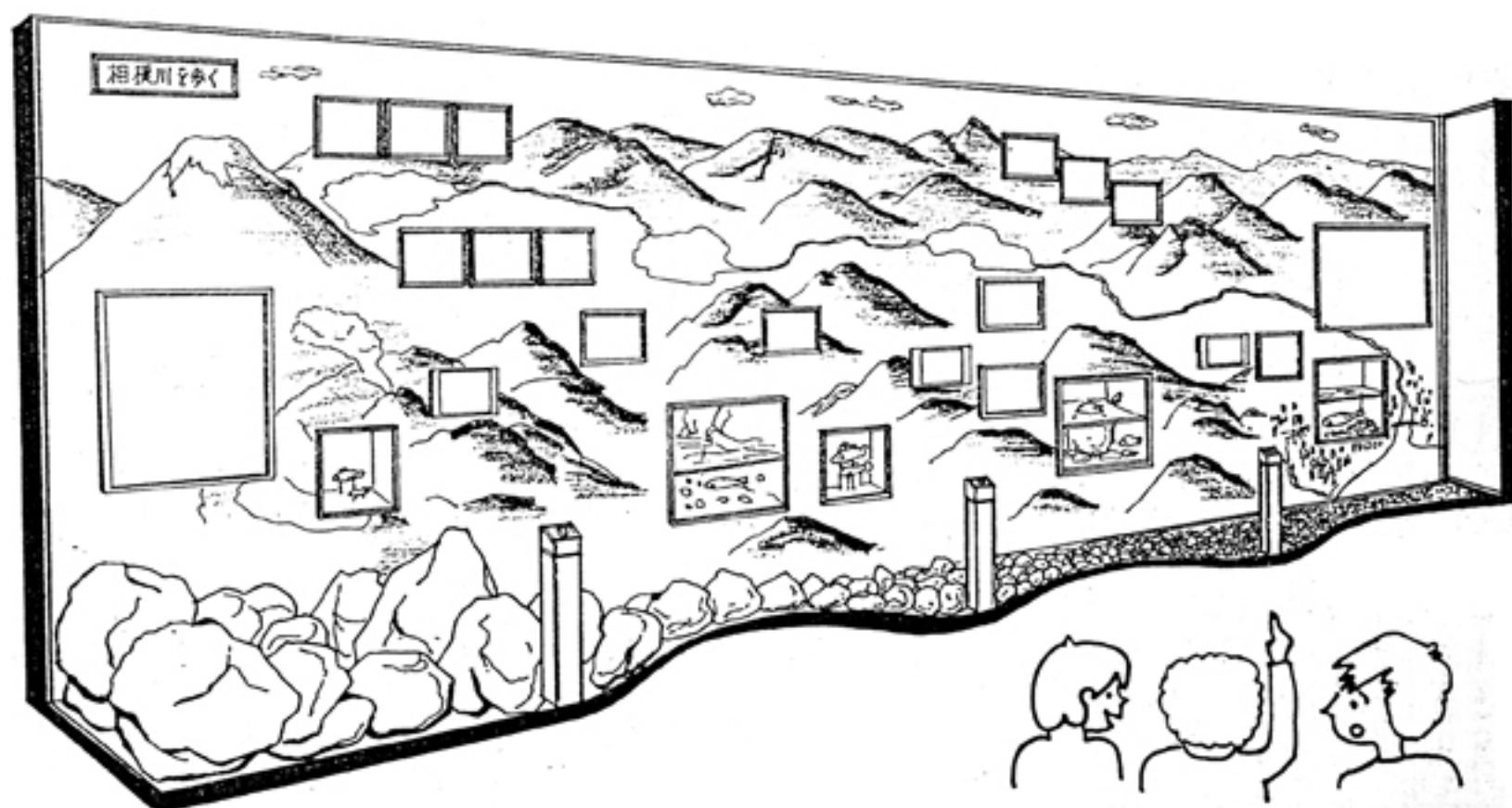
4, 相模川の舟

6, 相模川と相模平野

5, 川の石、山の石

1. 『相模川を歩く』

このコーナーは、相模川を15メートルの長さの模型に表現し、源流から河口までの川辺を観覧者が散策しながら、さまざまな情報を得られるようにしたものです。



東京や横浜から東海道線に乗った時、相模川を渡ると平塚に帰って来たなと感じる人が多いでしょう。平塚は相模川のほとりの町なのです。ところで皆さんは相模川がどこの山から流れだしている川かご存知でしょうか。

ちょっと意外なのですが、相模川をさかのぼって行くと富士山にたどりつきます。相模川は日本一の山である富士山を源流にする川なのです。富士山に降った雨や雪は地下にしみこみ、山すそに湧水となって湧き出しています。目に見える相模川の源流である山中湖や忍野八海はこうした富士山の地下水が湧いている所なのです。

博物館では「相模川を歩く会」を開いて、流域をめぐる旅を続けてきました。「相模川を歩く」の展示では、その旅で撮影した写真を使って、相模川流域の姿を紹介していきます。

山中湖から流れだした桂川は、大月で笹子峠からの笹子川と大菩薩連峰からの葛野川、上野原では分水嶺を越えると多摩川水系になる鶴川

を合わせます。神奈川県に入ると相模川と名前が変わり、本流に相模湖、津久井湖の二つの人工湖が作られています。相模湖の上流で秋山川、下流で道志川の二つの大きな支流が合流します。津久井湖の下の小倉で流れは南に向きを変え、一路平塚の河口に向かいます。

この展示では、こうした相模川の流路を示すとともに、流域の景観を紹介します。また上流、中流、下流の流れの中のようなすを小さなジオラマで紹介します。ヤマメ、ウグイ、マハゼなど、相模川の魚たちの暮らしぶりが見えるでしょう。また、マイコンを使って、相模川のすべてが分かるクイズも出題する予定です。

展示の見所の一つは、上流の大きな石が並べられることです。富士山の溶岩も展示される予定です。

平塚に住むものにとって身近な川である、相模川ですが、その素顔は案外知られていないと思います。それを紹介する展示に期待して下さい。

《行事案内》

11月の行事予定

9	土	古文書講読会 石仏を調べる会（まとめ） 土曜観察会（まとめ） ナチュラリスト講座 天体観察会
10	日	漂着物を拾う会（平塚海岸） 石仏を調べる会 相模川の生い立ちを探る会 （秦野） 体験学習「巣箱作り」
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 石仏を調べる会 天体観察会（国立天文台見学）
17	日	相模川を歩く会
19	火	古文書講読会
29	金	星を見る会（星雲・星団）
30	土	土曜観察会

12月の行事予定

7	土	ナチュラリスト講座
8	日	漂着物を拾う会（平塚海岸） 相模川の生い立ちを探る会 （丹沢方面）
14	土	古文書講読会 土曜観察会 天体観察会 （ふたご座 流星群）
15	日	漂着物を拾う会 （江ノ島方面） 石仏を調べる会
21	土	体験学習「おかざり作り」 平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会
22	日	相模川を歩く会
11/1～11/29 寄贈品コーナー（地質部門）		
12/1～12/27 " （民俗部門）		
11/10～11/29 特展「切手のなかの博物誌」		
～11/2 プラネタリウム「星の一生 Part2」		
11/9～12/26 " 「月面遊覧」		
9/10～12/21 学校団体投影		

■寄贈品コーナー「さまざまな地質資料」

最近新たに寄贈あるいは、収集された平塚
周辺の化石・岩石・鉱物の標本や顕微鏡で見
る微化石などを展示します。

期間：11月1日（金）～29日（金）

■プラネタリウム投影

テーマ「月面遊覧」

月の表面は、無数のク
な「海」と呼ばれる地形におおわれています。
その様子を生々しいビデオ映像でご紹介しま
しょう。

投影期間：11/9～12/26 ☆

投影開始時刻：土曜日14:00 ★

日曜日11:00と14:00

観覧券：100円 ☆

■星を見る会「星雲・星団を見よう」

アンドロメダ星雲・すばる星・二重星団・
M15など有名な星雲と星団、アンドロメダ
座γ（ガンマ）星などの二重星を望遠鏡で眺
めます。

日時：11月29日（金） ☆

18:00～20:00 ☆

場所：博物館科学教室・屋上

参加：自由（寒くないように服装を用意して
参加して下さい。）

■体験学習「おかざり作り」

正月の一文かざり・ゴボウジメ・玄関かざ
りを作ります。

日時：12月21日（土）

10:00～15:00

申し込み：往復ハガキで担当まで。

（切は12/10、定員30人）



「あなたと博物館」16巻8号 通巻182号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 Ⅷ (0463) 33-5111 FAX (0463) 31-3949